

近畿大学医学部環境医学・行動科学教室で実施している新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のクラスター発生状況に関する研究について

近畿大学医学部環境医学・行動科学教室（以下、当教室）では、「クラスター発生場所における COVID-19 のリスク分析と有効なクラスター防止策の研究」という臨床研究を行っています。以下の内容を確認してください。なお、この研究は、近畿大学医学部倫理委員会 (<https://www.med.kindai.ac.jp/rinri/index.html>) で審査され、承認を受けて行われます。

① 情報の利用目的及び利用方法

この研究では、COVID-19 のクラスターが発生した現場の室内空間に関して、建物、空調設備、人員配置、二次感染者の発生状況、個人防護具の着用状況などの情報を入手し、その情報をもとに COVID-19 の二次感染リスクを分析することを主な目的としています。そのため、クラスターが発生した情報提供機関から提供を受けたクラスターの発生状況に関する情報を研究に利用します。本研究で利用する情報は、すでに情報提供機関で匿名化された情報であり、本研究では個人を識別することができる情報を扱うことはありません。

② 利用する情報の項目

- 匿名化されて提供を受けたクラスター発生情報（PCR 等による SARS-CoV-2 陽性者の発症日や症状の経過、PCR 等による感染状況検査報告日、クラスター発生場所での人員配置や場所のサイズ、感染予防策実施状況、空調設備等）

③ 利用する者の範囲

近畿大学医学部環境医学・行動科学教室 東 賢一（研究責任者）、水越厚史、奥村二郎

④ 情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

近畿大学医学部環境医学・行動科学教室 東 賢一

以上